

シルバー やまがた

第121号 平成28年1月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会

正会員数 943名 賛助会員 44個人・54団体(12月末現在)



蔵王の樹氷 (第6地区伊藤和男さん撮影)

— 内容紹介 —

- | | | | |
|-----|-------------------------------|-------|--------------------|
| P 2 | 新年のご挨拶 (山形市長)
新年を迎えて (理事長) | P 5 | 人あり・技あり・心あり |
| P 3 | 地区班長と理事との
意見交換会を開催 | P 6~7 | 会員のひろば |
| P 4 | 安全就業推進活動 | P 8 | わが街自慢 |
| P 5 | 事業普及啓発活動を実施 | P 9 | 就業会員を訪ねて
新入会員紹介 |
| | | P 10 | 事務局だより |



新年のご挨拶

山形市長 佐藤 孝弘

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人山形市シルバー人材センターにおかれましては、日頃から「自主・自立・共働・共助」という基本理念のもと、会員の皆様の熟練した技能や経験を活かした就業活動や、各地区での清掃ボランティア活動など、多岐にわたる事業を展開され、地域社会の活性化と福祉の増進に大きくご貢献いただいております。長瀬理事長をはじめ会員の皆様に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

私は昨年九月、多くの市民の皆様からの温かいご支援と負託を賜り、山形市長に就任いたしました。世界に誇る安全・安心のまち「健康医療先進都市」の実現に向け、新たな経営計画を策定し、各般の施策に全力で取り組んでまいります。

さて、少子高齢化の急速な進行による人口減少社会を迎え、団塊の世代の相次ぐ定年退職による労働力不足や現役世代への社会保障費の負担増等が大きな課題となっております。

このような中、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくためには、健康で就業意欲の高い高齢者が地域経済の担い手として活躍できる多様な就業機会の確保が不可欠であります。

本市では、「住み慣れた地域で支え合い、健やかで生きがいをもつて暮らせるまち」の実現に向け、「山形市高齢者保健福祉計画・第六期介護保険事業計画」に基づき、高齢者が積極的に社会参加できる環境づくりに鋭意取り組んでおります。

こうした取り組みを着実に推進するためには、地域社会の労働ニーズと、豊かな経験で培われた知識や技能をお持ちである高齢者の労働力とを結ぶ貴センターのご理解、ご協力が不可欠でありますので、今後とも本市の高齢者福祉の推進により一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人山形市シルバー人材センターのますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年を迎えて

理事長 長瀬 洋男

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。また、昨年中は皆様には特段のご支援、ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

昨年度に策定いたしました「新中期事業計画」に基づく事業運営基盤の強化を図る重点施策としての「イチイチ運動」のうち、就業機会の拡大につきましては、請負に係る契約額が目標としている四億円に到達できる見込みであり、シルバー派遣事業につきましても順調に推移している状況にあります。

一方で、会員の拡大につきましては、山形市の高齢化率が進むなか、入会者が増えない状況にあります。昨年末の地区研修会においても、ご説明させていただいておりますが、是非、会員一人一人が友人、ご近所の皆様にご紹介してくださるようお願い申し上げます。

昨年十月には、自由民主党の「シルバー人材センター活性化議員連盟」との意見交換会、要請活動を

行つてまいりました。その席上、地域ニーズ・政策方針に十分に対応できるよう、各センターが使いやすい補助金交付制度の見直しと公共事業の発注の確保を強く要望してまいりました。

全国シルバー人材センター事業協会としての継続的な要請活動である、会員の働き方に係る「臨時・短期・軽易」の要件につきましては、厚生労働省の検討会において「緩和等の可能性を検討すること」と提言されたことを受け、早急に要件を緩和していただくよう要望しているところであります。

少子化、核家族化が進む中で高齢者が雇用され、または就業することができるとの創出や確保を図っていくことが必要です。また、会員が生きがいをもって社会参加し、現役世代を支える側として活躍することが期待されています。

今年一年が皆様にとって良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

地区班班長と理事との意見交換会を開催

総務部会長 鈴木 洋一

昨年十月一日、山形テルサ大会議室において、標記の会議を開催いたしました。

理事長から、「センターの運営をより良いものとするため、忌憚のない意見をいただきたい」とのあいさつの後、各分会・委員会から主な事業の実施状況や課題について説明がありました。特に広報部会からは、①会報の内容等について、会員の意向がつかめない②「わが街自慢パートII」は残り九地区でひと区切りとなる。このあとの企画をどうするか検討しているが、後ほど各地区から意見をお願いしたいとの説明がありました。質疑応答の概要は次のとおりです。

(問) 受注が増えているのに会員が増えないということだが、地区における一・一運動として世話を中心にリーフレット等を配布したいと思うがどうか。

(答) 前向きに取り組んでいただき有り難い。現在ポスター等を作成中なので、でき次第班長さんを通してお願いしたい。

(問) 会員を勧誘するときに、何かインパクトのあるキャッチフレーズはないものか。

(答) シルバーの就業は臨時的・短期的なもので、長く働きたい人はハローワークにいきます。定

年延長になってきていることから六十五歳未満の入会もほとんどありません。ボランティアや社会貢献と小遣い程度の収入を得て、健康維持を試みませんかということも勧誘していただければと思います。

(問) 地区研修会の参加者が少ない。土曜日や日曜日に開催することは可能か。

(答) 昨年度の地区研修会でも話があったが、担当理事や職員都合をつけて開催できるように努めたい。

(問) 百名程の未就業会員がいるということだが、その方々はそれで満足なのか。

(答) 一部の方を除いて満足していると思われる。適正就業が終わり、高齢のためスポット的な就業で良いという方、愛好会の活動だけをやっていききたいという方もおります。一部の方には、人格的な問題を総合的に判断すると就業が難しく、就業先から断られたりもします。そういう方に就業先を紹介するのは慎重にならざるを得ない。ただ、会員にはできるだけ満遍なく、仕事を紹介したいと思っている。

(問) 適正就業期間はどうなっているか。

(答) 適正就業期間は基本的には五年と定められているが、希望する会員が少ないため交替できず、六〜七年就業している方もおります。適正就業により終了した方でも働く意欲のある方には他の仕事を紹介していますし、今後ともそのようにしていきたい。

(問) 除雪については生活道路を確保すると理解しているが、駐車場の除雪も頼まれることがあ

(答) 基本的には生活道路の確保なので、そのような要望は断つてもらって結構です。本来はシルバーでやるのではなく、町内会でやることだと思います。

(問) 冬期間仕事のない方もいるので、例えばJRの除雪を地区内で対応できるように研修をやったかどうか。そうすれば除雪のやれる人数がふえるのではない

(答) 除雪についての連絡はまだだが、交渉できる機会があるので、いろんな意見をいただいで、要望に添うよう対応したい。

(問) 現在三名の世話役で四十四名の会員を受け持っているが、一名増やしてもらえないか。また職場の中で人間関係も問題がいろいろあると聞いている。事務局も間に入って解決できるようにしてもらいたい。

(答) 組長については担当エリアが広いということが増員した事例

もあるので、相談願いたい。職場の人間関係について悩んでいるところは少なからずあるようです。場合によっては職員も入って話し合い、対応をしていますので、事務局に相談願いたい。

以上の質疑応答の後、議長から、冒頭に広報部会から話のあった「わが街自慢パートII」について、原稿を書くのはなかなか難しい面もあるが、箇条書きに写真等を添えて提出してもらい、広報部会で編集することにしてはどうかとの案がだされ、その方向で了解を得た。また「わが街自慢パートII」のあとの企画について、班長から①地区にはいくつか町内があつて、原稿を書く素材はあると思うので、続けていつてもらいたい②原稿はほとんどのところで班長が書くと思うが、班長も交替するので別な視点で書けると思う。このまま続けていいのではないかと意見があり、議長からこれを諮ったところ、全員一致で了承されました。今後とも会報の発行に関して、ご協力をお願いします。

今回の班長会議でも貴重なご意見や要望がだされ、有意義な意見交換会となりました。今後ともお互いに協力し課題を解決するなど、円滑なセンター運営を行っていききたいと思

安全就業推進活動

安全就業推進委員長 樋口 健 一

《清掃奉仕活動及び交通安全啓蒙活動》

交通安全啓蒙活動

十月八日、総務部会と安全就業推進委員会主催で清掃活動と交通安全啓蒙活動を行いました。

生憎の強風の日ではありましたが一三三名の参加を頂きましたことを御礼申し上げます。

例年であれば、馬見ヶ崎河川敷の清掃ボランティア活動を行なっていました。山形市民の芋煮会後のモラル向上で、効果が薄れてきた背景



もあり、今年度は、大野目大通り両

側歩道の清掃活動と、山形警察署交

通第一課佐藤課長他五名の警察官の

ご協力を頂き、交通安全ののぼり旗

を持ち二口橋から感動ハウス前交差

点まで、通行人や自転車に乗車中の

皆さんに夜間歩行時に反射するシー

ルやタスキを配り、交通安全啓蒙活

動を行いました。

また、両側の歩道の清掃活動は、

町内の皆様方の常日頃の清掃が行き

届いており、清掃活動の効果は有っ

たか少々不安ではありましたが、煙

草の吸殻等々ゴミ袋三袋になりました。

中には街路樹のまわりの草取り

を熱心にされていた会員の方もおり

さすがシルバーだと感心致しました。

これからは路面凍結となる時期にな

ります。足元の注意とゆとりある運

転を行い、会員の皆様には交通安全

に十分注意して頂き、健康で元気に

シルバーの活動をとっています。

《山形県安全就業推進大会》

県内の全シルバーが一同に集まっ
て十月十六日、二十七年年度の県安全



就業推進大会を今年度は、山形テル
サ大ホールで開催されました。

片倉副会長の開会の挨拶から始ま
り、長瀬会長の挨拶、来賓の祝辞等
があり、安全就業優良シルバー人材
センター賞には、朝日町 S C、大石
田町 S C、東置賜 S C、三川町 S C
が表彰されました。安全標語入選の

発表もあり、当会員で第十地区の上
谷一郎さんが「忘れまい 油断と過
信が 事故まねく」の作品で優秀賞
の表彰を受けました。

引き続き「事故ゼロ」を目指して

「安全はすべてに最優先する」の安

全宣言を参加者全員で宣言しました。

第二部は、共同通信社編集委員の橋

詰邦弘氏の「安倍政権と日本の政

治」と題しての講演と山形警察署交

通第一課交通安全主任の大宮啓二氏

の「高齢者の交通安全について」の

講演、アトラクションとして山形県

警察音楽隊の演奏があり、アンコー

ルにも快く受けて頂き盛会に終了し

ました。

《抜き打ち不定期パトロール》

安全就業推進委員会として、秋の
抜き打ち不定期パトロールを、十一
月に実施しました。三日間で九ヶ所
の就業先をパトロールしたことによ
り、更なる安全意識を持ち就業につ
ながれと思います。

最優秀賞

忘れるな あの日 あの時 あのヒヤリ

上山市 S C 会員 富田勝男

事業普及啓発活動を実施

広報部会長 小林 誠

十月の全国一斉シルバー事業普及啓発促進月間において、次の普及啓発活動を行いました。

会員によるボランティア活動

十月八日（木）、二口橋から大野目交差点に向かって、鈴川交流センター付近の大通りの清掃活動を行いました。安全就業推進活動としての交通安全啓蒙活動と一緒にりましたが、その内容は別掲のとおりです。

また、各地区の研修会の開催にあわせて公民館や公園の清掃などを行っております。

役員による街頭啓発活動

十月二十七日（火）、イオン山形南店・北店恒例の「火曜日」にあわせて役員、専門部会員二十九名が十時から十一時まで、PRチラシを配布しながらセンター事業の利用と会員の入会勧誘を行いました。

当日は目のさめるような秋晴れで来店者も多く、準備した千二百枚のチラシは一時間足らずで配布完了となりました。

「草むすりは、なんぼすんだあ」と声をかける高齢のご婦人もおられ

て、シルバー事業のPRができたと思います。

その他の活動

このほか、市役所市政記者クラブへ啓発活動内容等についての情報提供、十月二十二日（木）から二十四日（土）まで山形テルサで開催された互助会主催の文化祭、女性部会による創作品頒布会場にPRチラシとパネルを展示して、事業の紹介と入会の動機づけ・勧誘を行いました。文化祭、頒布会二六九名の入場者にぎわい、PRができました。



シルバーに

人あり 技あり 心あり

百点満点目指し

クレイをねらう



鈴川二地区 渡邊 孝

山形国体の時、クレイ射撃の山形県代表に内定していた。しかし、渡邊さんに運がなかった。突然、利き手が難病のキーンベック病に。

はじめ近くの医院では捻挫の診断でした。腫れがひどいために大学病院で診察を受けて病気が判明、名医を紹介され手術を受ける。

渡邊さんは、銃砲店でアルバイトをしていたとき、銃の所持許可を取得。その店が閉じることになり、安く銃を買い求める事ができた。

当時、宮城県

の秋保に射撃場があり、リハビリを兼ね練習に行った時、今の自分を育ててくれた人に会ったのです。そうし



て師匠と弟子の関係となり心・技・体のすべてに指導を受けることができたのです。中でも筋力トレーニングは、師匠も同じ病気をしたこともあり、特に頑張りました。師匠の銃や道具なども譲ってくれました。念願であった師匠との金・銀獲得を豪州のブリスベンで開かれたトップガン大会で達成。

十五メートル先から飛び出すクレイ（オレンジ色をした皿のこと）に銃を構え、射手のコール（掛け声）に機械が反応、クレイが飛び出す。引き金を引く。弾がクレイを粉々に炸裂する醍醐味は最高です。「いつも大会に参加する時は、山静寿の従業員の応援や勤務の交代を同僚達が快く引き受けてくれることに感謝します。一番の感謝は、傍で支えてくれる女房の協力があることです。」と笑って話す。

最後に、「少しでも長く射撃を続けたい」と締めてくれました。

（取材・広報部）

私の趣味「家庭菜園」



第三地区
日下部 武

定年を期に、私の家庭菜園、野菜作りが始まりました。野菜作りは全く初めてのことでした。最初はいろいろな人に手順を聞きながら見よう見まねで始めましたが、今年で五年目になります。野菜作りが一番大切な事は、家族が安心して食べられる野菜を作ることです。農薬を使わずおいしい野菜を作りたいをいつ

も心がけています。最初は、きゅうり、なす、トマトから始めましたが、

今では、季節に合わせて、いろいろな野菜を作るまでになりました。毎年上出来なのが、さといもです。毎年、いも煮の季節になると、知り合

いなどに、おすそわけしてありますが、「すごくおいしい。」と言われると、

やっぱりうれしいです。そんな楽しみもあるので、楽しく野菜作りをしています。まだまだ、勉強しながら

家庭菜園ですが、家族はじめみんなの笑顔のために、これからもおいしい野菜を作りたいと思います。

牛乳のちから



第五地区
鹿野 栄子

私は、牛乳が大好きです。体に良いと聞いて飲むようになりました。義母にも勧め、特にお風呂上がり効果が。初めはお腹がゴロゴロ

する様だと言っていたのですが、次第に慣れたようです。

ある冬の朝、義母は雪道で滑って、右足大腿骨骨折をしてしまいました。

手術後、担当の医師より「八十歳を超えたとは思えない程、お若い骨です。」と誉められ、嬉しそうにしていたのを思い出します。

病院で勧められた杖は、今も玄関に置いてあります。一回も使わずに……。その当時の義母は、牛乳を

飲み続けて十数年経っていました。今さらながら、牛乳のちからはすごいなあと感じています。

現役よりも第二の人生



南山形・本沢地区
栗田 幸吉

定年退職して早五年。この間現役時代の仕事を契約社員として二年勤め、その後はのんびり、ゆーつたりと思いきや、その苦痛な事！

朝起きて「今日は何すっぺ」と思う時の空しさ！現役の頃から趣味は

いっぱいあった。しかし焦点が全然定まらなかった。それに趣味を第一に優先した第二の人生であっても、

それなりのお金が必要になってくる。暇つぶしも兼ねながらハローワークに通い、シルバー人材センターを紹介された。今は山大付属中の作業員

として働かせていただいで居ります。二人で交替の作業なのですが、先輩

の的確なアドバイスもあり、その仕事の楽しいこと。現役時代はデスクワークが主だったので、今は社長兼作業員、お茶汲み、弁当も手作

りとなんでもあり。現役時代もこうした仕事であって欲しかった。第二の人生、大変大変良い機会を与えていただきました。



多員の健康・趣味

採れました



南沼原地区
廣部 康夫

「きのこ採りさ行くべ」と十月某日、西蔵王方面に車を走らせたのでございます。
今日は新たな場所を開発しようという事で、木々を観察しながら山道を走っております。
すると、右前方に、やや、この風情はきのこがわたくしを呼んでおりますぞという景色が現れました。

さつそく林の中に分け入り、少し行きますと「あれ、あそこさ見えるのはムキタケではないがあ。よつくと見るとあそこにも、おお！あそこにもあるじゃん。」

近くまで行くと、「あら、これはナメコだべした。あ！上にあだえついでる。よおし、長い枯れ木でつついて落とすべ。」

しばらくすると、太いミズナラの所で「ヤッチャン、これクリタケでないかしら。」と私を呼ぶのです。(注一…妻は私のことをヤッチャンと言います。)

幹の根本周辺にクリタケの群落が点在しておりました。

はげごが相当重くなった頃、「お！ここにナメコの小さいのがいっぱいついてる。今日は採らないで後日来ましょう。目印は上に生えてる太い松だ。」ということので

初日は帰途につきました。続く。



寄稿

金井・大郷地区研修会を開催



金井地区
今田 一夫

十一月十一日(水)、忙しい中村田せつ子理事、平田悦一課長、武田千春係長の三名の方にご出席いただきました。昨年は十二月の開催で寒かったので、今年は暖かい十一月に行ったためボランティア活動を行うことが出来ました。会場は三年連続嶋南集会所を使用させていただいたので、嶋南梅の木前公園のどうたんの木の剪定を計画し、当日十四時より晴天の中気持ちの良い作業を行うことが出来ました。会員の皆様からは自前の道具を持参していただいたおかげで、短時間で終了することが出来ました。さすがですね。

研修は十五時より、三名の方の挨拶後、山形市シルバー人材センター事業運営報告、一般労働派遣報告、

お客様からの苦情や喜びの声など報告がありました。当日参加会員の自己紹介では、シルバーの会員でよかつたとの声が多数出ました。金井、大郷の方はまだまだ働きますよ。その後希望者の方で十六時より懇親会を開きました。少ない予算のなか、今回は村田理事様より美酒を頂いたので、最高に盛り上がりました。来年も実り多い地区研修会を十一月に予定して十八時に無事に終わりました。



滝山一地区

山口 重雄

遠く移りきた時代の歴史に瀧山信仰の大きなロマンが秘められ、且自然豊かな西蔵王の麓に抱かれ、かつては緑の大地で、秋は黄金の実りを展開していた地。今や、東北芸工大を始め、新しい文化を創造し、躍進する地。山形市内最大の人口を有する地。それがわが街、滝山地区です。

夜明け頃から、運動や犬と散歩する人々、朝、夕の幹線道路の通勤ラッシュ、登下校時の生徒達にそそがれる「子ども見守り隊」の暖かい眼差し、青パトの巡回、活動盛んな自治会、賑わいを見せる商業施設、身体を癒す温泉、目を楽しませる色とりどりの花々や街路樹、時々通る緊急車両、防犯上の明るい街路灯。

西空に陽は沈み、夕暮れのやさしさに包まれて、夜ともなれば、高台より一望する美しい山形市街の灯の輝きに、今日の無事を感じ、明日への活力を誓

いながら、滝山地区の一日がゆつたりと過ぎていきます。



滝山地区全景

地域紹介

わが街自慢

パートII



第四地区

明石 務

通称三島通りに「三島神社」があります。遊学館からの帰り、いつからか通る度に一礼、車の時は気持ちの一礼をしております。

この通りを東へ上ると、教育資料館（元師範学校）、その三層楼の彼方に盃山の頂が見えてきます。また、神社北には東高正門があります。

明治九年、県令三島通庸が、馬見ヶ崎河川敷であったこの地に鎮座された三島稻荷神社を見て、「おう、わしと同性じゃ」とすごく感激され、明治十二年に静岡県三島大社の分霊を「三島神社」としてこの地に厚く祀られました。以来百三十余年、地元信仰厚い神社になりました。

行事は年末年始は勿論、三月の春祭り、六月の例大祭、十一月の秋祭り等、町内の通りには提灯を飾

り、境内には数々の出店が並び、子供たちからお年寄りまで大勢集い、祭り事を楽しんでおります。

鳥居の左右には、男女一対の御神木（榎の木）があります。秋には幼稚園児がどんぐりひろいやいちょうの落ち葉で無邪気に楽しんでる風情は、行きかう人々を微笑ませてくれます。





就業会員を訪ねて

鈴木美智子(かすみが温泉)

就業時間は、温泉の利用時間と同じ午前十時から午後八時三十分。前勤と後勤の二日二交代、交代は午後三時三十分です。

温泉の休業日は祝日のみですが、元日を含む年末年始は営業します。このほか配管清掃のため年二回、数日間の臨時休業があります。



山形駅西口から歩いて約十分、山形市総合福祉センターの中にある「かすみが温泉」に鈴木さんを訪ね、仕事や就業時間などをお聞きしました。

仕事は温泉を利用されるお客様の受付業務で、五名の会員が就業しています。

一般の浴室のほかに障がい者浴室があります。利用希望の場合はセンター事務室への予約が必要です。

お客様は若い人から高齢の方まで幅広く、一日三〇〇人ぐらい、多いときは四〇〇人を超える日もあります。

みんなが気持ちよく入浴できるマナーとして、①入浴前に身体をよく洗う②浴槽にはタオルを入れない③洗い場の場所取りはしない④洗いやくを独占しない⑤浴室で歯磨きはしないなどの決まりがあります。それを守らな

いお客様がいます。お客様の間でもめぐるとなり、苦情を受けることもあります。靴を履き違えられた、物をわすれたといった申し出もあります。

こうした苦情や申し出があったときは、ていねいな対応を心がけ、大きな不満とならないように留意することが大切です。

常連のお客様とは時節のあいさつを交わし、世間話をするこも。「いやあ、いい湯だったあ」といわれると嬉しくもあり、励みにもなります。

入浴は気分転換、疲労回復に効用があるといわれます。会員のみなさんも利用されてはいかがでしょう。シャワー類も完備されて、料金は大人二百円です。

(取材・広報部)

新入会員紹介

(10月1日～12月31日まで)

南沼原地区	南山形・本沢地区	蔵王地区	楯山地区	金井地区	出羽・明治地区	滝山二地区	滝山一地区	飯塚・樺沢地区	第三地区	第二地区								
小松 正樹	伊澤 謙二	初山 正一	矢口 博史	尾形 道子	高橋 典子	岡崎 政男	小林 久子	安達 晴義	熊谷 秀男	中野 文雄	水戸 義夫	大須賀健二	黒坂 栄子	神藤 直好	久末 守義	大津 昭	布施 富造	鈴木シズエ



事務局だより

配分金Ⅱ所得税法上の取扱い

シルバー人材センターの仕事をして得た『配分金』は所得税法上では「雑所得」として取り扱われますので、課税対象者になると思われる会員の方は各自において最寄りの税務署に申告が必要となります。

センターでは、平成二十七年分の配分金の合計額を証明する『配分金支払証明書』を発行しますので、必要方は一月二十九日までに事務所へご連絡下さい。二月三日以降に事務所窓口で交付いたします。

なお、『配分金』については、六十五万円の控除が認められております。配分金以外の収入がない場合には、基礎控除三十八万円を含めて百三万円まで所得税が課税されないこととなります。

また、公的年金を受給している場合は配分金とは別に所得控除が受けられます。公的年金控除額は左記のとおりです。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の

（株）山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話（〇三三）六四七―六六四七

URL: <http://webc.sjc.ne.jp/yamagata/>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

所得控除及びその他の控除については、税務署にお尋ねください。

公的年金等控除額

受給者の区分	その年中の公的年金等の収入金額 (A)	公的年金等控除額
年齢65歳以上の人 (昭和26年1月1日以前に生まれた人)	330万円以下	120万円
	330万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
	770万円超	(A)×5% +155万5,000円
年齢65歳未満の人 (昭和26年1月2日以後に生まれた人)	130万円以下	70万円
	130万円超410万円以下	(A)×25% +37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15% +78万5,000円
	770万円超	(A)×5% +155万5,000円

お知らせとお願い



配分金支払日

- 一月二十日 (水)
- 二月十九日 (金)
- 三月十八日 (金)

入会説明会 (午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘を願います。

- 一月十四日 (木) 二十一日 (木)
- 二十八日 (木)
- 二月四日 (木) 十八日 (木)
- 二十五日 (木)
- 三月三日 (木) 十日 (木)
- 十七日 (木)

就業相談日 (午後一時三十分)

就業に関する相談です

- 一月十四日 (木)
- 二月十八日 (木)
- 三月十日 (木)

計報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

下山 邦彦さん(七十歳)

(第十地区)

あとがき

あけましておめでとうございます。広報部会一同良い広報紙づくりが心がけてまいりますので、本年もご理解とご協力よろしく申し上げます。

最近、「懐かしのメロデー」の歌番組に聞き耳を立て内心ホットしている自分に気づき、自分を古めかしく感じることはありません。

自分とは逆に、日進月歩する科学技術は驚くばかりです。ハンドルなしで走る車を二〇二〇年のオリンピック開催までに完成をめざして開発中、人間と会話のできるロボットの研究も進み、すでに実用化されているロボットもあります。科学技術の進歩は、世界平和に向かって進歩してほしいと願うばかりです。「会員の広場」の原稿にご協力ください。原稿依頼は、広報部から会員の皆様へ直接電話でお願いします。記事の内容は、旅行の思い出や家庭菜園の楽しみ、健康のためにおこなっていること等々。どんな記事でも構いませんので、よろしく願います。

末筆になりましたが、本年も会員の皆様にとって良い年になりますようにお祈りいたします。